

つながり

大上好久

令和6年1月15日発行 Tel:29-5210 Fax:21-3456



祭りで 子供と先生と地域住民の 思いが一つに！

小学校学習指導要領（平成29年7月告示）解説 総則編の中で、「豊かな体験活動の充実（第1章第6の3）」を取り上げています。その中で、「…地域社会の行事への参加も、幅広い年齢層の人々と接し、人々の生活、文化、伝統に親しみ、地域社会に対する愛着を高めるだけでなく、地域社会への貢献などを通じて社会に参画する態度を育てるなど、児童にとっては道徳性を養う豊かな体験となる。」と述べています。

岩国市内では、地域行事を学校のカリキュラムの中に取り込み、全校や学年として参加している小中学校があります。本号では、4年生全員(88人)が参加した玖珂小学校を紹介します。

11/19(日) 鞍掛城(くらかけじょう)まつり 【玖珂小】



《当日までの学び● その後の学び(予定も含む)◎》

- 玖珂町の歴史や「いきりこ」(子供たちが参勤交代をまね明治時代に始まった行列)について、地域住民から話を聞く。 ◎ 祥雲寺を訪問する。 ◎ まとめを発表する。
- 「いきりこ」「花笠音頭」「輪投げ・射的ブースの出店」の3グループに分かれて活動



これまで、人数が少なかったのですが、今回は38人です。学校の協力と子供たちの頑張りで「いきりこ」が盛り上がっています。

〈保存会 田村会長〉

練習や準備では、これまでの学習を生かして、真剣に取り組んでいました。地域の方に喜んでもらおうとする気持ちが伝わってきました。

もうすぐ本番です。呼びかけ、説明、自分の動き…お客さんの立場に立って最後の工夫をしよう。

〈学級担任〉

緊張しました。でも、たくさんの方に見てもらって嬉しかったです。

〈子供〉

週休日を全校授業日とし、4年生は授業の一環として参加しました。子供も地域の方も喜んでいました。地域貢献ができてよかったです。

〈長岡 校長〉

地域学校協働活動は、無理があつては長続きしません。楽しさややりがいを感じなければ充実感が得られません。カリキュラムに組み込むことで、子供も教職員も地域住民も、計画的にじっくりと取り組むことができたようです。「地域を盛り上げよう」という同じ思いを持ち、お互いの立場を尊重しながら活動している姿に感動しました。

